

# カンガルーシップ活動 共生プロジェクト 実施報告書

報告日	平成 29 年 2 月 28 日
主管学校名	大阪教育大学附属幼稚園
PTA 会長名	大川 仁美

実施概要	主管校	大阪教育大学附属幼稚園
	交流校	大阪教育大学附属特別支援学校
	実施活動名	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) サツマイモの苗つけ</li> <li>2) お互いの思いをつなぐ絵を描く</li> <li>3) タベのつどい</li> <li>4) ふようバザー</li> <li>5) PTA クラブ発表会および学校見学</li> <li>6) 秋の芋掘り</li> <li>7) すもう会</li> </ol>
	実施日時	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 平成 28 年 5 月 17 日</li> <li>2) 平成 28 年 6 月 29 日</li> <li>3) 平成 28 年 7 月 23 日</li> <li>4) 平成 28 年 9 月 10 日</li> <li>5) 平成 28 年 9 月 12 日</li> <li>6) 平成 28 年 11 月 15 日</li> <li>7) 平成 29 年 2 月 24 日</li> </ol>
	実施場所	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大阪教育大学柏原キャンパス内の支援学校畑</li> <li>2) 特別支援学校・附属幼稚園</li> <li>3) 特別支援学校</li> <li>4) 特別支援学校</li> <li>5) 特別支援学校</li> <li>6) 大阪教育大学柏原キャンパス内の支援学校畑</li> <li>7) 幼稚園遊戯室</li> </ol>
	実施目的	年間行事を通して、特別支援学校の生徒および保護者と附属幼稚園の園児および保護者が様々な形で交流することにより、学校間や保護者間の親睦を深め、交流の活性化を図る。
	実施内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 特別支援学校高等部の生徒らと園児がサツマイモの苗つけを行う。</li> <li>2) サツマイモの苗付けおよび収穫までのお世話をお願いすることに対するお礼の気持ちを絵に描き、特別支援学校に届ける。</li> <li>3) 特別支援学校 PTA 主催の夏祭り「タベのつどい」に園児とその保護者が参加。</li> <li>4) 特別支援学校 PTA 主催の「ふようバザー展」にて販売するバザー品を募集し提供。</li> <li>5) 幼稚園 PTA クラブ所属の保護者による歌、大型絵本の読み聞かせ、マジックなどの発表。その後特別支援学校の学校見学。</li> <li>6) 春に特別支援学校の生徒と植えたサツマイモを園児が収穫する。</li> <li>7) 幼稚園主催のすもう会に特別支援学校小学部の児童らを招待する。</li> </ol>
実施方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大阪教育大学柏原キャンパス内の特別支援学校の畑に年長児親子が春の遠足で訪問し、特別支援学校高等部の生徒らからサツマイモの苗つけを教わりながら親子で苗を植える。また、秋の収穫までの水やりを特別支援学校生徒らにお願いする。</li> <li>2) サツマイモの苗付けおよび収穫までのお世話のお礼として、年長児がその思いを絵にかいて、後日先生から特別支援学校に届けていただく。その後、特別支援学校の玄関ホールに掲示。</li> <li>3) 招待状をいただき、タベのつどいに家族で参加する。</li> <li>4) 幼稚園玄関ホールにてバザー品を収集し、提供する。</li> <li>5) 幼稚園 PTA クラブに所属する保護者らが特別支援学校に出向き、歌や大型絵本の読み聞かせ、マジックなどを発表し、特別支援学校小学部の児童らと楽しいひと時を共有する。その後特別支援学校の校内を案内していただき、お互いの理解を深める。</li> <li>6) 大阪教育大学柏原キャンパス内の特別支援学校の畑にて、春に苗つけを行ったサツマイモを特別支援学校の生徒らとともに収穫する。</li> <li>7) 幼稚園主催のすもう会に特別支援学校の児童らを招待し、力士と取り組みをしたり、取り組みを見て一緒に応援したりして、ともに楽しい時間を共有する。</li> </ol>	

	参加人数	在園児・在園児の保護者 各約 150 名
	内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 大阪教育大学柏原キャンパス内の特別支援学校の畑に年長児親子が春の遠足で訪問し、特別支援学校高等部の生徒からサツマイモの苗つけを教わりながら親子で苗を植えた。また、秋の収穫までの水やりを特別支援学校生徒らにお願いした。</li> <li>2) サツマイモの苗付けおよび収穫までのお世話のお礼として、年長児がその思いを絵にかいて、後日先生から特別支援学校に届けていただいた。その後、特別支援学校の玄関ホールに掲示していただいた。</li> <li>3) 招待状をいただき、特別支援学校 PTA 主催の夏祭り「タベのつどい」に園児とその保護者が参加した。特別支援学校グラウンドにて、軽食の販売やゲーム夜店、大学生による YOSAKOI ソーランの披露などがあった。</li> <li>4) 特別支援学校 PTA 主催の「ふようバザー展」にて販売するバザー品の募集を行った。また、附属幼稚園玄関ホールにバザー品の回収場所を設置、物品を収集し特別支援学校に提供した。</li> <li>5) 附属幼稚園 PTA クラブに所属する保護者が、特別支援学校に出向き、歌や大型絵本の読み聞かせ、マジックなどを発表し、特別支援学校小学部の児童たちと楽しいひと時を共有した。その後、特別支援学校の校内を副校長先生に案内していただいた。</li> <li>6) 大阪教育大学柏原キャンパス内の特別支援学校の畑に年長児が秋の遠足で訪問し、春に苗つけを行ったサツマイモを特別支援学校高等部の生徒とともに収穫した。</li> <li>7) 幼稚園主催のすもう会に特別支援学校小学部の児童らを招待した。幼稚園遊戯室に土俵を作り、力士と取り組みをしたり、取り組みを見て一緒に応援したりした。</li> </ol>
報告事項	結果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 前日の大雨で畑の畝にたくさんの水がたまっていたのを、朝早くから特別支援学校高等部の生徒たちが一生懸命水かきをしてくれたおかげで、無事苗付けを行うことが出来た。特別支援学校の生徒が苗付けの方法を、ポスターを使って説明してくれて、園児たちもとても分かりやすかったようだった。苗付けを行う際には、園児たちに苗が行き渡っているか気を配ってくれ、園児たちも上手に苗付けが出来ているかなど質問する姿があり、とても自然にお互いが交流できていた。</li> <li>2) 年長児たちが描いた絵を、特別支援学校の玄関ホールに掲示していただいた。畑と一緒に活動するだけで終わらず、園に帰ってからお礼の気持ちを絵に描くことによって、心の交流が深まった。</li> <li>3) 附属幼稚園の園児とその保護者でタベのつどいに参加した。軽食やゲームの夜店、YOSAKOI ソーラン節の披露などがあり、大人も子供も楽しむことができた。いつもの交流とはまた少し違った、夏祭りでの交流で、とても楽しい時間を共有することができた。</li> <li>4) 附属幼稚園で、バザーの提供を募った結果、多数の物品を提供することができた。後日、特別支援学校 PTA 会長からお礼のお手紙をいただいた。ふようバザー展では、日用品や軽食の屋台、卒業生の出店などがあり、どれもとてもリーズナブルな価格で販売されており、たくさんの地域の方や平野五校園の生徒、園児、保護者など多くの人で賑わっていた。ふようバザー展に参加することによって、特別支援学校の活動を知る良い機会となった。</li> <li>5) 附属幼稚園 PTA クラブによる、歌やマジック、大型絵本の読み聞かせに、特別支援学校小学部の児童たちが、とても興味を持ってくれたり楽しんでくれている様子がうかがえた。PTA クラブ発表会終了後、特別支援学校の副校長先生に学校内を案内していただいた。施設をととても丁寧に説明していただき、また授業風景も少しのぞかせていただいた。普段あまり見ることの出来ない学校生活を見学させていただいたことで、より一層お互いの理解が深まった。</li> <li>6) 特別支援学校の生徒さんたちが方法を分かりやすく説明してくれたり、優しく教えてくれたおかげで、楽しくお芋堀りをする事ができた。特別支援学校の生徒さんと園児たちがお芋堀りという同じ作業を一緒に行うことにより、お互いをより一層身近な存在と感じる良い機会となった。</li> <li>7) 本物の力士に、特別支援学校小学部の児童たちも、園児たちもとても興奮している様子がうかがえた。体の大きな力士に真剣に向かっていく姿に、見ている児童、園児たちが共に一生懸命応援することによって、とても楽しい時間を共有することができた。</li> </ol>

	所感	<p>春の遠足でさつまいもの苗を特別支援学校高等部の生徒さんたちに教わりながら植え、秋の遠足で一緒にお芋を収穫することで、園児たちも「お兄さん、お姉さん」と自然に接することができ、お互いをより一層身近な存在と感じる良い交流の機会となりました。本年度は、特別支援学校高等部の生徒さんたちに、収穫までさつまいものお世話をお願いすることへのお礼に気持ちを絵に描いて届けました。幼稚園に戻ってからも、日々お世話していただいていることに思いを巡らすことで、単なる行事のひとつではなく心の交流につながったと思います。</p> <p>保護者も、夕べのつどいやふようバザー、PTAクラブ発表会や学校見学など、様々な活動で交流の機会を持つことができました。本年度はPTAクラブ発表後に、特別支援学校の副校長先生に学校内を案内していただき、また授業風景も少しのぞかせていただきました。普段あまり見ることの出来ない学校生活を見学させていただいたことで、より一層お互いの理解が深まりました。</p> <p>またおすもう会では、本物の力士との取り組みを見て互いに一生懸命応援する姿がみられ、とても楽しい時間を共有することができました。</p> <p>今後も、単なる行事に留まらず、お互いの理解を深め、共生を育むような活動を工夫して継続していきたいと思えます。</p>
--	----	--

添付書類	報告書 収支決算書 領収書添付用シート 参加者の声（児童・生徒分） 参加者の声（保護者の分） 活動記録写真
------	--



## 活動記録写真

サツマイモの苗付け



お互いの思いをつなぐ絵を描く



タベのつどい



PTA クラブ発表



学校見学



秋の芋掘り



すもう会



## カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成 29 年 2 月 28 日
学校名	大阪教育大学附属幼稚園
学年	

### 【サツマイモの苗付け】

- ・お兄さん、お姉さんと一緒にサツマイモを植えて楽しかった。
- ・秋にお芋掘りに行くのが楽しみだ。
- ・お兄さん、お姉さんが植え方を書いた紙を持って来てくれて教えてくれたから、上手に植えることができた。
- ・もっと色々なことをお兄さん、お姉さんと一緒にしたい。
- ・お兄さん、お姉さん、教えてくれてありがとう。

### 【お互いの想いをつなぐ絵を描く】

- ・おいもがはやく大きくなるように、太陽を5つ描いたよ。
- ・お兄さん、お姉さんがお芋のお世話をしてくれるって。お芋掘りに早く行きたいな。

### 【タベのつどい】

- ・タコせんがおいしかった。
- ・マグネットの魚釣りが楽しくて、何度も何度も挑戦した。
- ・ボーリングでストライクが出て大興奮だった。

### 【秋の芋ほり】

- ・お兄さんとお姉さんは優しくて、とってもお芋掘りは楽しかった。
- ・自分で掘れないくらい大きなお芋は、お兄さんたちが手伝ってくれた。
- ・お兄さんが「はじめにしゃもじでやさしく土を掘ってから、つるをひっぱってください。」と説明してくれて分かりやすかった。その通りにしたらできた。
- ・特別支援学校のお兄さんたちがここを掘ったらいいよと教えてくれた。
- ・「やさしくお芋を掘って抜いてあげてね。お芋が折れちゃうからね。」とわかりやすく教えてくれてうれしかった。
- ・お芋が大きかったから特別支援学校のお兄さんがほめてくれてうれしかった。
- ・幼稚園で一緒に遊んだことのあるお兄さんに会えてよかった。

### 【すもう会】

- ・二回会えて嬉しかった。（昨年、今年と会えたことに喜んでいました。）
- ・おすもうさんのおなかすごくかたかったよ、と驚いていました。
- ・おすもうさん、毎日 400 回もしこを踏んでるって。
- ・おすもうさん、プリンの匂いがしたよ。（おすもうさんの横に座れて喜んでいました。）
- ・ドキドキしたけど、最後は勝って良かった。
- ・私もお友達もみんな勝ったよ。小学生のお兄さん、お姉さんもみんな勝ってたよ。

## カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日 平成 29 年 2 月 28 日

学校名 大阪教育大学附属幼稚園

### 【サツマイモの苗付け】

- ・特別支援学校の生徒さんの説明はとても分かりやすかったです。子どもにも土のかけ方など優しく教えてくれて、良い交流になりました。
- ・特別支援学校の生徒さんが、子ども達を見つめる眼差しがとても優しく、一生懸命に説明して下さる姿に感激しました。

### 【ゆうべのつどい】

- ・参加されている方も、お手伝いされている方も、みなさん自ら積極的に自主的に動かれており、また自らも楽しんでおられるのが伝わってきました。
- ・息子が同じゲームを何度もやりたがり、そのたびに丁寧に对应いただきました。最後には顔も覚えていただき、「まいど！」と声をかけていただきました。
- ・年長児の絵が玄関ホールに飾られていてうれしかったです。

### 【ふようバザー】

- ・ひとりひとりの生徒さんが声をだし、町の皆さんに対して丁寧に販売活動をしておられ、その一生懸命さに心打たれました。
- ・商品を購入した際には、入れる袋が小さいとわかれば保護者の方々が子どもにきちんと教えて、ひとまわり大きな袋に入れてくれたり、将来を見据えての取り組みもよくわかりました。
- ・どのブースに立ち寄っても「ありがとうございました」と言ってもらえて、本当にこちらの方がお礼を言いたくなりました。
- ・町の方々もたくさんお見えになっており、幼稚園の修了生も見かけられたりと、修了しても子どもたちの中で特別支援学校さんとのつながりがあることを感じ取れてよかったです。来年も行きたいです。

### 【PTA クラブ発表会および学校見学】

- ・セリフやナレーターの言葉、ペープサートのちょっとした動きに対してその都度正直に反応してくれる子どもたちに、こちらも次のセリフや音にどんな反応をするかなと楽しみにしながら発表することができました。発表している間は子どもたちの表情は見えませんが、楽しんでみているんだなあという声が聞こえてきて安心しました。
- ・1曲目の「幸せなら手をたたこう」は、一緒に手拍子や体を動かして楽しんでもらえ、2曲目の「はらべこあおむし」も楽しかったと生徒さんたちに喜んでもらったので、嬉しい気持ちでいっぱいになりました。
- ・思っていた以上に反応がよく、喜んでもらえてよかったです。子どもたちも一緒に「チンタラホイ！」と言ってくれたり、ペットボトルを振ってくれたりして良かったですと思っています。
- ・学校見学という貴重な機会を設けていただきありがとうございました。マロンクリームを作るのに、栗を採るところから始めるという事に驚きました。子どもたちがどのようなことに取り組んでいるのか知ることができて勉強になりました。

### 【秋の芋ほり】

- ・予想以上の立派なお芋で驚きました。春からずっと大切にお世話をしてくださった特別支援学校の生徒さん、先生方のおかげです。ありがとうございました。
- ・子どもたちが嬉しそうに帰ってくる様子を見て、このような色々な体験やふれあいは大切にしていかなければならないと、改めて思いました。
- ・特別支援学校との交流を継続して行うことで、子どもたちは特別支援学校の生徒さんのことを、いっしょに活動してくれるお兄さん、お姉さんとして、身近に感じているようです。
- ・幼少期からこのような交流を持つことで、様々な理解を深めていける良い機会だと思いました。

### 【すもう会】

- ・まだまだ可愛い子どもたちが、お友達と一丸となって力士さんに挑む姿がたくましく見えました。
- ・早く力士さんと対決したい子どもたちが、身を乗り出して座っている様子がキラキラして見えました。
- ・特別支援学校の生徒さんも最初はドキドキしているように見えたのですが、勝負に勝つとガッツポーズをしていたのがほほえましかったです。
- ・相撲をとるだけでなく、子どもたちに向かっていく姿勢を湧き立たせるような意欲まで持たせていただけたようにも思います。